

活用状況報告書

おかやま国際協力大使 氏名 井上 満
赴任国 ミャンマー

昨年の11月、任地のスポーツアスリート育成学校に、岡山県のご協力により、なわとびを約50本、ドネーションしていただきました。そして、毎日のトレーニングで使用をしています。

縄跳び自体はミャンマーにもありますが、子供たちが触れる機会は殆どなかったようです。その為、始めた当初は、普通の前まわし跳びさえ、上手にできない子供たちが半数以上でした。

そして、使用後の片づけの習慣がなく、終わった後は適当に投げて帰ってしまう、ということもありました。

また、驚いた、というのか、少し笑ってしまったのですが、上手く跳べないので、握る力が入りすぎて、縄跳びの持つ部分を強く握って壊してしまう子供が多数いたことでした。これは想定外の出来事でした。

そして、使用を始めて現在、3か月程経過しました。種目的には、ボクシング、サッカー、バドミントン等の生徒達は上手に交差跳びや二重跳びまで出来るようになりました。しかし、空手や陸上の生徒達は上手く跳べない子が多数存在します。“継続は力なり”なので、今後も継続して練習に取り入れ、生徒達の巧緻性を向上させ、さらに持久力の向上にもつなげていきたいと思えます。岡山県、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



縄跳び練習



なわとびの道具置き場